

小学校

s 3-3

わり算

(何倍)

3学年

【ねらい】

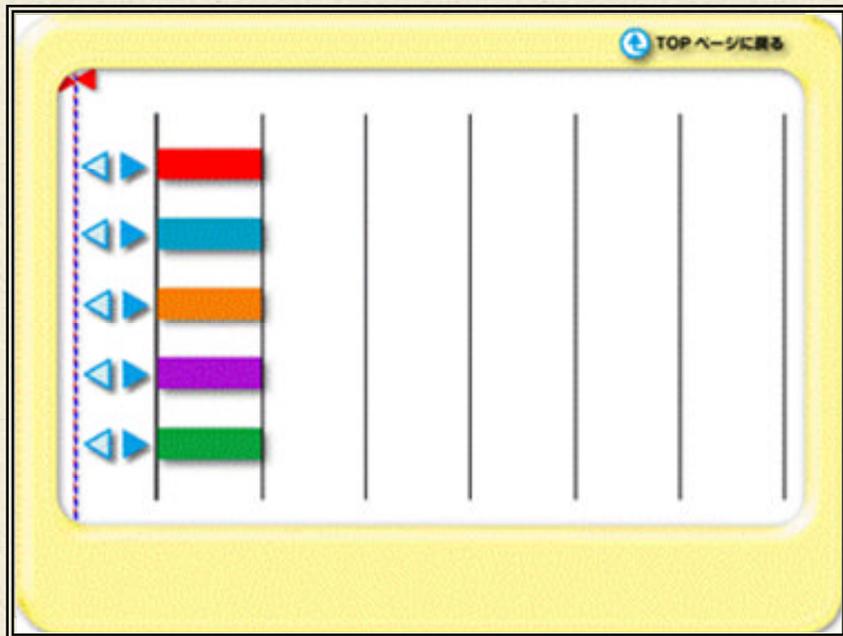
乗法と除法の関係について理解する。

【特徴】

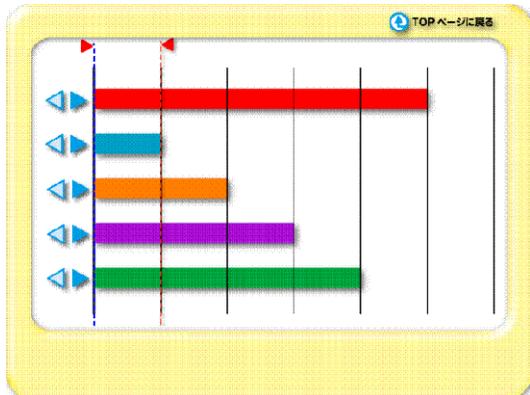
- ◇ やじるしをクリックすると、自由に棒の長さを変えることができます。
- ◇ 赤と青の点線を動かして、基準量などを表すことができます。

【関連する単元】

- ◇ 小学4年「整数の除法」(倍)
- ◇ 小学4年「小数の仕組みとその計算」
- ◇ 小学5年「小数の乗法、除法」
- ◇ 小学5年「分数」
- ◇ 小学6年「分数の乗法、除法」



【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証



倍の概念の素地をつくります

基準となる量を示すことができるため、除法と乗法、加法との関係を考えさせることができます。

- ◇ かけ算九九と関連付けながら学習を進める際、“3つずつが5つぶん”など、部分と全体の関係についておさえます。
- ◇ かけ算九九でかける数が1増える毎に矢印をクリックして棒を伸ばし、その変化の様子についても話し合わせます。
- ※ 除法と乗法、加法の関係や、部分と全体との関係をしっかりとつかませることによって、小数や分数の計算の考察の手だてになります。
- ※ 「だいたい色は、青色の2倍(2つ分)」、「緑色は、だいたい色の2倍(2つ分)」など、表せる関係を言葉の式で表現し、基準になる部分を変えることによって、同じ表現(上記の場合は、「2倍」)をすることができることに気づかせることも大切なポイントです。